

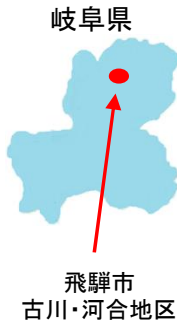
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻が主体の中山間地域
- 特に土地利用型農業の担い手不足が課題のため、担い手の確保・支援が求められている地区

【支援内容・背景】

- 地区では、自給的農家によって農地利用が進められており、農業後継者の確保率は26%と低い状況である。
- 将来農地の貸付や農作業委託化を進めるためにも、地域を支える基幹的経営体の確保と育成が求められている。
- 地域の担い手に位置付けられている経営体に対し、機械導入支援を行うことで、経営規模の拡大を進め、持続可能な地域農業の確立を図る。



助成対象者「(株)みつわ農園」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成24年 組織設立
 - 平成25年 経営改善計画の認定
 - 平成28年 WCSの生産を開始
 - 令和 3年 経営移譲
- 自作の高品質米を使ったOEMIによるオリジナルブランドの酒、みりんの販売を開始

《事業活用の背景》

- 米価が低迷する中で、経営安定に向け、WCSや酒用の高品質米など、売れる米作りの取組みが必要。
- WCSの作付面積の拡大に向け、WCSの収穫・ラッピングの効率化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

- 売上高 22百万円
- WCS栽培面積 23.5ha
- 水稻栽培面積 7.1ha

《事業による整備内容》

- WCS収穫機 1台
事業費 14,733千円
(国費 6,696千円)
- 自走ラップマシーン 1台
事業費 3,267千円
(国費 1,485千円)



【現在の経営状況】
〈R5年度〉

- 売上高 24百万円(109%)
- WCS栽培面積 24.6ha(104%)
- 水稻栽培面積 11.4ha(160%)

事業の
効果

《対象者》 作業の効率化が進み、経営面積を拡大。
《地区》 WCSや水稻の面積拡大が図られることにより、地域の水田営農を支える基幹的経営体となるとともに、WCSを地元の畜産農家に供給することで耕畜連携が確立。